アドミッション・ポリシー

入学者選抜の基本方針

大学および学群・学類の求める学生像との適合性並びに本学における学びへの適合性をもった人を、総合型選抜（Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期）、学校推薦型選抜、一般選抜（前期・後期）、大学入学共通テスト利用選抜（前期・後期）および特別選抜により広く受け入れます。

求める学生像

本学は「キリスト教精神と豊かな教養によって内面をはぐくみ、他者への愛と奉仕の心をもって社会に貢献する人間を育成する」ことを教育理念としています。また、この教育理念に基づき、教育の目的を「キリスト教の精神に基づき人格の陶冶をめざし、教育基本法および学校教育法の規定するところに従い、広く知識を授け深く専門の学芸を教授研究すると共に、国際的視野に立って文化の向上と人類の福祉に貢献できる人材を育成すること」と定めています。

そのため、以下のような学生を求めます。

キリスト教の精神	キリスト教の愛と奉仕の精神に基づき、高い倫理観を持って他者への深い思いやりと理解、さらに協力、支援に努める人
基礎力と教養	社会人として期待されるコミュニケーション能力や豊かな教養、課題を解決する能力を身につけたいと考えている人
意欲と行動力	大学生としての学修やその他の活動に意欲的かつ主体的・行動的に取り組む人
他者への貢献の志	国際的な視野に立って地域の発展や人々の幸福に貢献したいと考えている人

各学類のアドミッション・ポリシー

人文社会学群 人文社会学類

人文社会学群人文社会学類では、社会や文化に関する専門的な学びを活かし、多様な人々が共生できる社会を構築するために、自分にできることを自ら考え、課題解決に向けて行動できる人を育てます。

次のような学生を求めます。

1. 興味関心がある分野について好奇心を持って取り組める人
2. 将来の目標に向かって継続して学修できる人
3. 学問分野にとらわれず、幅広く学び、より広い視野で物事を考えたい人
4. 他者を理解し共に行動する力を身につけたい人

心理・教育学群

心理･教育学群では、豊かな想像力と他者への共感力を持ち、高い専門性と実践力を身につけた心理学･教育学の専門家を養成します。そのため、人間の心や行動、発達や関係などについて科学的に学ぶ意欲があり、獲得した知識を他者や社会のために生かしたいと考える学生を求めます。

心理学類

心理学類では、人間の心を、心理学の各領域で幅広い視点から捉えることで、人間を深く理解することをめざします。それによって、人の心を科学的、論理的に分析する力を養います。また、実践的で、現場に近い経験を積むことによって、自分から物事に向かっていく主体性や積極性と、他者に共感し、協力・援助する力を身につけます。

次のような学生を求めます。

1. 自分のこと、他人のことを深く理解できるようになりたい人
2. 人と接する際にどうすればよいかが判断できるようになりたい人
3. 他人の心をケアしたり、サポートしたりすることができるようになりたい人
4. 人との関わりが重要視される職場で働きたい人
5. 人の心や行動のメカニズムに強い関心がある人

子ども学類

子ども学類では、子どもを科学的・総合的に理解し、その健やかな成長・発達に向けた支援に取り組み、多様な家庭や地域の子育て支援に貢献できる「子どもの専門家」を育てます。

次のような学生を求めます。

1. 子どもを取り巻くさまざまな社会問題に関心がある人
2. 現代社会における保育・教育の役割を理解しようとする人
3. 子どもや子育て支援に関わる幅広い分野で活躍したい人
4. 多様な背景を持つ人々と協働して主体的に学ぼうとする人

心理・教育学群	学校教育学類	学校教育学類では、児童・生徒一人ひとりに学ぶ楽しさ、知る喜びを味わわせることのできる教育の専門家を養成します。理論と実践の両面から、多様化する学校現場に即応できる資質や能力を身につけ、児童・生徒・保護者と信頼関係を築くことができる人材を育てていきます。 次のような学生を求めます。 1. 児童・生徒の成長や教育について興味を持ち、感性豊かな人 2. 小学校の先生、特に小中一貫教育など接続領域に強い教育者になりたい人 3. 特別支援学校の先生になりたい人 4. 中学校（国語または保健体育）の免許状取得を希望する人 5. 公務員（あるいは民間の関連施設職員）になって教育行政に関わる仕事がしたい人 6. 教育活動に関わる企業・市民団体・NPO などで働きたい人
健康栄養学群 健康栄養学類		健康栄養学群健康栄養学類は、栄養士法による管理栄養士養成施設として国の認可を受けた管理栄養士養成課程です。食と健康の関係に強い関心を持ち、将来食の専門家として人々の QOL の向上に貢献することに強い意欲を持った人を求めます。 次のような学生を求めます。 1. 管理栄養士として、医療、介護福祉、健康支援行政などの分野で仕事をしたい人 2. 栄養教諭、学校栄養士として、食育・学校給食などの分野で仕事をしたい人 3. 食の専門家として、食品の生産、流通などの分野で仕事をしたい人 4. 大学院に進学して、栄養科学の分野で研究能力を養いたい人